

# 昇龍祭



盛岡中央高校

# PTA会報



MORIOKA CHUOH HIGH SCHOOL  
The Transaction of PTA

Vol.53

令和2年12月14日  
盛岡中央高等学校  
PTA会長 澤口 英子  
在校生数821名  
〒020-0122  
盛岡市みたけ四丁目26番1号  
電話019-641-0458  
URL <http://www.chuoh-hs.jp>



今年度の昇龍祭も盛大のうち  
に終えることができました。今  
年度は新型コロナウイルスの影  
響で様々な行事が例年通りに行  
うことができず、昇龍祭もその  
影響を受けました。

開催中止も危ぶまれました  
が、この状況の中少しでも生徒  
に思い出を残したいという気持  
ちのもと、開催に向けて動きま  
した。前例のないこの事態に対  
応することは容易ではありませ  
んでした。当日の消毒の徹底は  
もちろんのこと、調理企画をチ  
ケット販売制に変更し、飲食ス  
ペースを屋外に設置することで  
販売するクラスに人が密集しな  
いように工夫し、例年体育館で  
行うステージ発表を屋外ステー  
ジを設営し発表を行うなどの対  
策を講じました。来校する保護  
者の方々には健康観察記録にご  
協力いただくなどの様々な対策  
を講じて開催することができま

した。

そして何より、生徒たちが今  
までの昇龍祭とは違い、様々な  
制限を設けた中でも何ができ  
るかと熱心に創意工夫を凝らし  
実現させることができたからこ  
そ素晴らしい文化祭となりました。  
また、コロナ禍で昇龍祭を  
開催するにあたり、開催に理解  
を示していただいたいき多大なるご  
支援ご協力を賜ってくださいま  
した保護者の皆様には深く感謝  
申し上げます。

来年度も新型コロナウイルス  
の影響は続くこととなり、学校  
行事もそれに対応して行わなけ  
ればなりません。この昇龍祭も  
その変化に対応しながら生徒の  
さらなる発想と工夫でより良い  
ものにしていきたいと思いま  
す。保護者の皆様におかれまし  
ては、今後ともご理解ご協力の  
程よろしくお願いたします。

(生徒会担当 清田 情弥)

**生徒会長 三浦 柚利 (2S22組)**  
8月29日に昇龍祭が開催されました。今年度は新型コロナウイルスの影響で昨年とは異なる点が多くありました。

まずはクラスでの企画内容です。毎年人気のおぼけ屋敷など換気が十分に行えない企画を行うことはできず制限がありました。その中でも縁日やカードゲーム、クイズや休憩所などそれぞれのクラスで考えを出し合いながら工夫して企画を立てることにより例年と同じように校内は賑わい昇龍祭も盛り上がっていたと思います。

他にも三年生の食品を扱うお店では食券を購入した後に時間制で商品を受け取る形式にする、飲食スペースの消毒を定期的に行うなどの対策がありました。食券の購入場所や飲食スペース、さらには部活動の発表を行うステージなども屋外に設置されたために、校舎内だけでなく校舎外も盛り上がり例年よりも明るく楽しい雰囲気広がっているように感じました。

今年度の昇龍祭は制限も多くあり例年とは異なる点が多くありましたが、その分生徒それぞれが来場者の方々を楽しませようと考えアイデアを出し合っても盛り上げることができたと思います。各委員会などとも協力し全員で昇龍祭を創り上げることができました。

## 根を張る



校長 千葉 研二

保護者の皆様には、日ごろより本校の教育活動にご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

本年一月十六日、日本国内初の新型コロナウイルス感染者として、武漢への渡航歴のある神奈川在住の三十代の中国籍の男性が報告されました。それが、四月初めには三千人を超え、十月末現在では国内感染者は約十万人弱、死者は千七百人、世界に目を向けますと、感染者は約四千三百五十万人、死者は百六十六万人と未曾有の事態となっております。

岩手県においては七月末に初めての感染が確認されこれまでに二百人を超える方の感染が報告されております。本校においては、生徒・保護者の皆様のご協力の下、マスクの着用、手洗い、消毒、換気の励行等の徹底を図り予防に努めて参りましたが、幸いにも感染はありませんが、三年生は大学受験、就職試験がすでに始まっております。この大切な時期に休校は

絶対に避けなければなりません。他県では、正規の授業が実施できていない学校もあるやに聞いております。一日一日、一時間一時間の授業を大切に、是非、自分の夢の実現に向けて一層の努力を期待いたします。

先日たまたま目を通していた雑誌にシドニーオリンピックのマラソン競技の金メダリストである高橋尚子さんの記事が載っていました。自分を支えてくれた三つの言葉について語っていただきました。高校時代の陸上部の先生から教わった言葉だそうです。

一、何も咲かない寒い日は下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。

一、疾風に勁草(けいそう)を知ると強い風が吹いたときに本当の強い草が分る。

一、丸い月夜も一夜だけいいことは長く続かない。常に満足することなく、次の一歩を踏み出すこと。

大変困難なときであります。一人ひとりが今できることをしっかりとと取り組むことが一番大切なことだと思います。

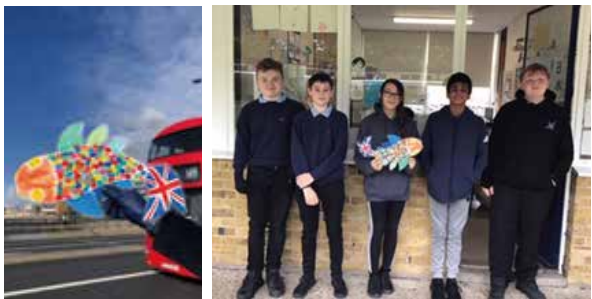
中央高校が更なる発展・邁進を続けるためにも皆様方の一層のご支援を重ねてお願いいたします。



## 国際交流



クラスで作成→英語の手紙と写真を添えて→姉妹校へ

イギリスの姉妹校 Impington 高校  
姉妹校からは続々と「コイ」のレポートが送られてきています。

**Learning Never Stops**  
姉妹校はコロナ禍でどのように学びを続けているか？  
①「Coi」プロジェクト  
全校のクラスで作成した日本の象徴である「コイ」が世界中

UNESCOによると、世界中のほとんどの地域がCOVID-19 ウイルス感染拡大のために閉鎖などの対応をとっています。この大規模の学校閉鎖により、世界のおよそ70%の児童生徒たちが影響を受けていると言われています。本校はこれまで21年間連続で開催してきた「CHUO国際教育フォーラム」を中止しましたが、これまで築いてきた姉妹校との友好関係を続けるために代替プロジェクトが進行中です。

全ての姉妹校からの「コイ」とレポートが届きましたら報告します。

② Never Stop Learningプロジェクト  
姉妹校ではコロナ禍でどのように学びを続けているのか、ビデオや写真などでレポートしてもらっています。どの国でも日本と同様にオンライン授業や時間差通学などで工夫をしているようです。アルゼンチンの学校もありません。世界中の姉妹校が以前のように皆で学校に通学できる日を願っています。



マレーシアの姉妹校 Taylor's International School Kuala Lumpur からのビデオレポートの1コマ



ベトナムの姉妹校 Bui Thi Xuan High School からのビデオレポートの1コマ

国際課で行っている3つのイベントについて紹介します。

### ■ St Joseph's Institution Collaboration with Morioka Chuo High School 2020

10月末よりシンガポールにある姉妹校 St. Joseph's Institution とのオンラインセッションを行っています。このセッションでは国連のSDGsをもとに「障害者との共存」について意見を出し合っています。1回目は自己紹介、学校紹介などを行いました。11月6日には2回目が開催され、各グループがテーマに関するプレゼンを行い、意見交換をしました。

### ■ 日本語クラブ with SMA Dwiwarna

10月よりインドネシアにある姉妹校、SMA Dwiwarna高校の日本語クラブとのオンライン交流が始まりました。Dwiwarna高校では日本語の授業が行われています。現地ではいまだに自宅でのオンライン授業が続いています。例年は1月に来日して日本語を学びますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大のために来日することができません。そこで日本語クラブの皆さんと本校の生徒がオンラインで日本語で交流を深めています。



### ■ TTBiz参加

TTBizは公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本と共に実施する高校生対象のプログラムです。このプログラムは、グローバルに活躍するためのマインドセットを要請するもので、本校から1チームが7月の書類選考を通過し参加しました。(全国から52チーム応募中、24チーム通過)

韓国・シンガポール・フィリピンから集った250名超の高校生がチームに分かれてディスカッションをしながら、訪日旅行プランを企画するという課題にチャレンジしました。



Zoom会議でシンガポールや韓国の高校生と英語でプランを企画して審査会に提出しました。残念ながら審査会では採用されませんでした。が、(24チーム中12チーム採用)他国の高校生と英語を使用してオンラインで企画を作成するという貴重な経験を通じて学ぶことが多くありました。

【参加チーム(4名)】

2SZ2 荒谷 悠妃 2SZ1 佐々良 愛奈  
2Z1 袖林 莉瑠 2Z1 田中 理子



# 各コース紹介

## 特進選抜SZコース

### 高みを目指す向上心

特進選抜SZコースでは、学力向上はもちろん、様々な活動を通じて自らの進路を実現させるための力を育成しています。今年度はコースの行事がコロナ禍のもと一部中止となる中、感染防止対策を行いながら、夏休み中にSZコース学習合宿を実施いたしました。1年生は東京海洋大学小松教授によるアクティブラーニング講座・アタマプラス・岩手学に、2・3年生は文理ごとにSGHIA・SSP探究学習に、それぞれ仲間と協力して取り組んでいます。これらの経験を活かし、今後もSZコースらしく高みを目指し続ける集団として、進路実現に向けて研鑽努力することを期待しています。

特進選抜SZコース長

佐藤 律子



## 特進Zコース

### 大学進学に向けて

特進Zコースでは毎年が新入生学習合宿、大学見学会、海外語学研修など様々な行事を行うことで、社会における様々な問題点を見出し、その解決に向けて大学で研究したいと大きな希望を胸に秘めて大学進学への学習意欲を高めてきました。今年度はコロナ禍により様々な行事が中止となりましたが、感染拡大防止策等対策を講じてできる範囲で実施しました。1年生は震災学習で講話から震災の大変さを改めて知るとともに、ボランティア活動から今後の復興の在り方について考えたようです。2年生はみたけ地域のボランティア清掃活動を行い、地域の方から感謝の声を掛けられる面が見られました。3年生は学習合宿を実施し、自分の進路目標達成に向けて仲間たちと一丸になって取り組みました。このような限られた取り組みの中でも、生徒たちはこれからの諸問題について考え、それらを解決しようと大学への進学について研究しようと学習へのモチベーションが高まったようです。今後の成果を期待します。

特進Zコース長

朝日田 光晴



## 進学選抜Aコース

### 進路実現のために

Aコースは進路実現100%を目指しています。学年ごとに目標を掲げ、3ヶ年計画で取り組んでいます。卒業までに各種検定準2級以上(Rコースは英検2級以上)取得、大学見学会参加、各種ボランティア活動達成のために、コース全体で取り組んでいます。今年度は、コロナ禍のために、カナダ修学旅行やコース企画が中止になりましたが、感染対策を十分に行い、マイナビ進学イベントWeb参加、「花育」を実施しました。今後、1年生は、2年次からの文理選択を12月の三者面談で最終確認します。2年生は、いわて未来づくりの職員による、次代の復興を担う人材育成を目指し、事業「いわての師匠」授業を行います。視野を広げる絶好の機会です。3年生は受験本番を迎えています。事前準備を万全に、全力で頑張りましょう!!

進学選抜Aコース長

藤原 陽子



〈1年生「花育」の様子 2020.10.26〉

## 国際Rコース

### 盛岡から世界へ

国際Rコースは進路留学Rコースから名称を変更し、豊かな人間性・国際性を育むことを目標に、各種教育を実践しています。これまでどの大きな違いは一年留学か3か月留学を選択する海外留学グループ(SAG)、海外ボランティア研修、海外語学研修などのプログラムを選択し、英語スキルや学力の向上を目指す英語スキルアップグループ(SUG)の2グループ制としていた点です。また、火曜日・金曜日の7時間目にはアカデミックライニングを実施し、アリス先生とメーガン先生の指導の下、英語のスキルアップに止まらず興味・関心に応じたテーマをリサーチし、レポートを仕上げ、プレゼンテーションまで実施しています。



ヘルステックイノベーションハブでのTOLIC研修の様子

国際Rコース長

石川 圭一郎

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で秋田国際教養大学や東京外国語大学の学校訪問、TOYOYO GLOBAL GATEWAYでの体験型英語研修などが中止を余儀なくされました。そのような中でもTGGにかわって福島県のプリティッシュヒルズでの研修や英語キャンプ、ベルリッツ講師による英語研修は実施することが出来ました。留学は非常に難しい判断をしなければなりませんでしたが、オーストラリアに関してはオンライン授業との併用で何とか留学実施への道筋をつけることが出来ました。生徒たちが海外での貴重な体験を通して大きく成長することを期待します。

## 進学総合Bコース

### コース行事での学び

コロナ禍で行事が先送りされており、今後の予定として1年生は県内の大学・短大・専門学校を、2年生は東北の大学・専門学校を三校見学する予定があります。毎年、実際に多くの学校を訪ね、施設見学や体験授業を行うことで、進路への関心を高め、早くから職業選択の検討を深めてほしいと考えています。

また、3年生は「車社会に出る高校生の君たちへ」と題して岩手県損害保険代理業会の丹内さんより出前授業をして頂き、車を運転するものの心構えや大切なことを説明していただき、卒業を迎えてもらいたく企画実施致しました。生徒達はまだ教習所に通う前ですが自分自身に置き換えて、事故の怖さや心構えの大切さを感じ取りながら熱心に聞いていました。

進学総合Bコース長

北川 貢





# クラブ活動報告

## 【男子ソフトボール部】

●岩手県新人大会ソフトボール競技男子の部 優勝  
●第15回東北高等学校男子ソフトボール選抜大会  
1回戦  
盛岡中央11-16古川高校(宮城第二代表)

新人チームは1年生8名、2年生5名の計13名と少ない人数ながら工夫して練習に励んで参りました。東北選抜大会では宮城県第二代表のチームと対戦し打撃面では互角だったものの守備の面で力の差を見せつけられる戦いでした。シーズンオフで体を鍛えなおし来年は東北大会でも互角に戦えるチームへと成長できるように練習に励んでいきます。引き続き応援よろしくお願致します。(顧問/佐藤田季也)



## 【ハンドボール部】

●第13回県秋季大会  
1部1回戦 盛岡中央28-15花巻南  
1部準決勝 盛岡中央16-27不来方  
第3シード決定戦  
盛岡中央24-29花巻北  
●第64回県新人大会  
2回戦 盛岡中央40-11水沢  
3回戦 盛岡中央30-25盛三・紫波  
準決勝 盛岡中央18-29不来方  
第3シード決定戦  
盛岡中央24-29盛岡南  
新チームは秋季・新人戦と2つの大会で、ベスト4という成績を維持



しています。更にも上を目指しているチームとしては、勝ちきれないという悔しい状況です。身体面・精神面・得点力など課題は明確なので、改善できるように個々が高い意識を持ち努力してくれることを期待しています。  
県選抜大会が1月5日から開催されます。上位2チームと与えられる東北選抜出場権を獲得することを目標に、努力していきたいと思えます。(顧問/杉田陽子)

## 【硬式テニス部】

●第52回岩手県高等学校新人テニス大会  
男子シングルス  
松田優斗(2Z3) ベスト8  
男子ダブルス  
松田優斗(2Z3)・箱崎壘(2Z2) ベスト8  
女子シングルス  
紺野木葉(2B1) 第3位  
女子ダブルス  
紺野木葉(2B1)・工藤さくら(1Z3) ベア 第2位  
●チャレンジャードブルス  
男子 松田優斗(2Z3)・箱崎壘(2Z2) ベア 第3位  
女子 紺野木葉(2B1)・工藤さくら(1Z1) ベア 第3位  
●県民テニス大会 少年  
男子シングルス



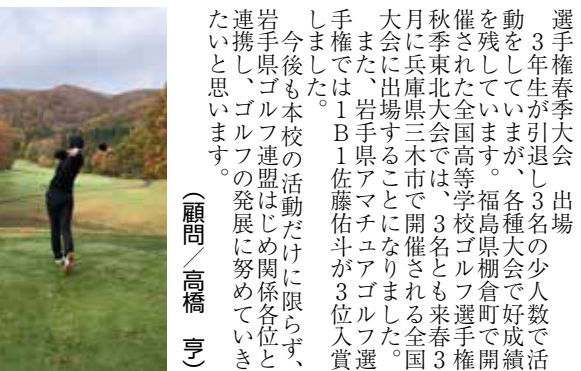
●第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会盛岡地区予選会  
盛岡中央 0-2 盛岡商業  
盛岡中央 0-2 盛岡工業  
代表決定トーナメント  
盛岡中央 1-2 盛岡北  
盛岡中央 0-2 盛岡農業  
地区予選敗退  
高総体の中止や3年生の引退、廃部の危機を乗り越え、感謝の気持ち忘れずに、2年生1名、1年生13名、マネージャー3名の17名で活動しています。本格的に活動を許可された直後の初陣となった春高予選では、高校バレーボールのレベルを肌で感じ、以降の練習においてフィジカルや技術の向上、戦術の理解などに一層励んでいます。逆境を言い訳にせず、周囲に応援される部を目指し続け、成果を挙げてみせます。(顧問/神隼人)

●東北春季ジュニア岩手県予選会18歳以下  
松田優斗(2Z3) 第6位  
東北春季ジュニア出場権獲得  
女子シングルス  
紺野木葉(2B1) 第1位  
東北春季ジュニア出場権獲得  
工藤さくら(1Z1) 第6位  
東北春季ジュニア出場権獲得  
●岩手県ジュニアダブルス選手権大会  
女子 紺野木葉(2B1)・京野ほのか(奥州J) ベア 第3位  
東北ダブルス選手権大会プリチストンカップ出場権獲得  
●第5回岩手県私立高等学校テニス選手権大会  
男子シングルス  
松田優斗(2Z3) 第4位  
東北私立高等学校出場  
女子シングルス  
紺野木葉(2B1) 第1位  
工藤さくら(1Z1) 第2位  
今年度はコロナウイルス感染症の影響で東北春季ジュニア、市民体、県高校総体、インターハイが中止となり、大会が再開されたのが7月の県民テニス大会でした。昨年までとは違う大会進行に戸惑う事も多いシーズンとなりましたが、これ以降

は例年通りの大会開催でした。昨年同様、紺野と松田が大会で結果を残していく中、1年生の工藤さくらが県民体優勝をはじめとして結果を残し、東北大会の出場権を獲得するまでに成長しました。部長の箱崎も、松田とのダブルスで表彰台に立つまでに実力を伸ばしています。紺野は怪我の治療をしながらの苦しいシーズンとなりましたが、最終戦となった東北春季ジュニア岩手県予選で優勝をもぎりました。団体では結果を残していませんが、各々の選手たちが目的意識を持ってオフシーズンの練習で実力をつけ、団体と個人両方でより上位の大会出場を目指していきます。引き続き応援よろしくお願致します。(顧問/石川圭一郎)

●第99回全国高校サッカー選手権大会  
盛岡中央1-2専大北上  
●2020 岩手県U18サッカー大会  
第2位  
●高田宮林 JFA U-18 サッカーリーグ 岩手2020 I-league Division 3 Satellite  
第4位  
●高田宮林 JFA U-18 サッカーリーグ 岩手2020 I-league Division 2B 第2位  
●高田宮林 JFA U-18 サッカーリーグ 岩手2020 I-league Division 1 第2位

●全国高等学校ゴルフ選手権秋季東北大会  
男子の部  
6位 菊池諒太郎(1A2)  
8位 佐藤佑斗(1B1)  
女子の部  
4位 齊藤桃子(2A2)  
以上3名 全国高等学校ゴルフ選手権春季大会 出場  
3年生が引退し3名の少人数で活動をしていますが、各種大会で好成績を残しています。福島県棚倉町で開催された全国高等学校ゴルフ選手権秋季東北大会では、3名とも来春3月に兵庫県三木市で開催される全国大会に出場することになりました。また、岩手県アマチュアゴルフ選手権では1B1佐藤佑斗が3位入賞しました。  
今後は本校の活動だけに限らず、岩手県ゴルフ連盟はじめ関係各位と連携し、ゴルフの発展に努めていきたいと思えます。(顧問/高橋亨)





開催の見通しが立たない日々もありましたが、生徒達は練習から常に真摯に取り組み、練習試合にも本番同様のモチベーションで臨みました。昨秋の新人大会からの主要大会では、優勝チームとの直接対決に敗れ敗退しましたが、他校からもその取り組みが称賛されるチーム、生徒達でした。支えて下さった多くの皆様のご声援に感謝いたします。ありがとうございました。

(顧問/村田 太)

【男子バスケットボール】

●第41回岩手県高等学校選抜バスケットボール大会盛岡地区予選

1回戦 盛岡中央81―73盛岡商業

2回戦 盛岡中央63―100盛岡一高

警復戦 盛岡中央44―81 盛岡北

●第66回岩手県高等学校新人大会バスケットボール競技盛岡地区予選

1回戦 盛岡中央84―38江南義塾

2回戦 盛岡中央21―106岩手

警復戦 盛岡中央69―44盛岡大附

男子バスケットボール部は現在2年生8人、1年生9人で活動しています。チャームに貢献できるように日々練習に励んでいるところですが、プレイヤー同士、互いに意見を出し合ったり、技術を教え合ったりして、1勝でも多く勝てるように努力を重ねています。今年度は、粘り強いディフェンスと、連携がとれたチームオフENSEを武器としたチームを目指し、今後も精進していきたくと思います。最後になりましたが、日々の部活動にご支援をいただいている保護者の皆様、本当にありがとうございます。今後とも何卒よろしくお願いたします。

(顧問/田村 拓)

【女子バスケットボール部】

●第41回岩手県高等学校選抜バスケットボール大会盛岡地区予選

1回戦 盛岡中央76―69不来方

2回戦 盛岡中央55―66盛岡北

警復戦 盛岡中央62―36岩手女子

●第41回岩手県高等学校選抜バスケットボール大会 岩手県大会

1回戦

盛岡中央57―90宮古商工・宮古水産

●第66回岩手県高等学校新人大会バスケットボール競技 盛岡地区予選

1回戦 盛岡中央74―63盛岡誠校



2回戦 盛岡中央39―97盛岡南  
警復戦 盛岡中央57―39岩手女子

●第66回岩手県高等学校新人大会バスケットボール競技 岩手県大会

参加決定

女子バスケットボール部は「岩手県ベスト16」を目標に日々、賑やかに活動に取り組んでおります。まだまだ、技術的にも精神的にも未熟さは見られますが、試合を重ねることに成長が見られ、とても頼もしく感じております。1月には新人戦の県大会が控えております。10月の選抜大会で県大会の雰囲気や力不足を痛感いたしました。その悔しさを生かし、目標達成のために精進してまいります。日々の部活動にご協力いただき、ありがとうございます。今後とも変わらぬご支援、ご声援をよろしくお願いたします。

(顧問/岩淵 城)

【男子柔道部】

●岩手県新人大会 (釜石市)

団体戦 3位

2回戦 盛岡中央5―0 宮古高校

3回戦 盛岡中央5―0 宮古高校

準決勝 盛岡中央2―2 (内容負け)

個人戦 優勝 岩沼 唯翔

90kg級 準優勝 宮田 修斗  
100kg級超級 3位 水口 泰吾  
本校男子柔道部は、コロナで大会が中止になっていく中、コロナ後初めて県新人大会を選手3人といい結果まで攻め切りチームも良い状態でしたが、運を味方に付けることができず、盛岡大附属高校に2―2の内容で敗退、翌日個人戦も敗戦を引きずってしまい、思うような結果が出ませんでした。今回の大会を経て、改めて自分たちの精神力の弱さに気が付く事ができました。次回は11月20日21日に岩手県選手権が控えており、今現在必死に稽古に取り組んでおります。次回大会では、100%の実力を出し切り悔いの残らない最高の試合を展開したいと考えておりますので、今後とも引き続き応援の程、よろしくお願致します。

(顧問/久保田 豪)

【女子柔道部】

●岩手県新人大会

団体戦 3位

個人戦 押切ひなみ 3位

48kg級 遠藤心優 3位

52kg級 市川妃奈 5位

57kg級 鳴原華恋 5位

63kg級 遠藤心優 3位

52kg級 市川妃奈 5位

57kg級 鳴原華恋 5位

●全国高等学校柔道選手権大会岩手県大会

団体戦 3位 (東北大会出場)

個人戦 押切ひなみ 2位

48kg級 遠藤心優 2位

52kg級 市川妃奈 5位

57kg級 鳴原華恋 5位

63kg級 遠藤心優 3位

52kg級 市川妃奈 5位

57kg級 鳴原華恋 5位

●東北大会出場

女子柔道部は、日々切磋琢磨しながら稽古に励んでいます。新人戦と選手権では、どちらも団体戦3位という結果となり、まだまだ実力不足であることに痛感しました。1月に行われる東北大会に向けて、ひとつひとつの練習を大切に、更に努力していききたいと思っております。今後とも応援の程よろしくお願致します。

(顧問/長澤英剛・佐々木万実)

【卓球部】

●第66回岩手県高等学校新人卓球競技大会

男子団体 2回戦敗退

新型コロナウイルス感染症拡大のため県高総体は中止となり、3年生

の部員にとつては悔しい引退となった新体制での部活動でした。新チームとなり2年生が中心となり部を引っ張って頂きました。体づくりから見直し、それが卓球における細かい課題を発見し、1月に行われる県選抜個人大会に向けて練習に励んでいます。今年度も保護者の皆様には練習試合や大会時の送迎など、ご支援頂きありがとうございます。

(顧問/吉田幸彦・佐々木美咲)

【陸上競技部】

●第71回岩手県高等学校新人陸上競技大会 (9/11(金) 13日(日))

男子100m 12位 (B決勝4位)

男子1500m 6位 千葉大門

男子3000m 6位 本堂智仁

男子5000m 6位 藤原和花

女子7種競技 3位 藤原和花

●第25回東北高等学校新人陸上競技大会 (10/2(金) 4日(日))

女子七種競技 15位 藤原和花

(顧問/北川 貢)

【ソフトテニス部】

●第65回県新人大会

男子団体戦 盛岡中央0―3花巻北

女子団体戦 盛岡中央0―3盛岡市立

1回戦 盛岡中央0―3盛岡市立

男子は新人戦県大会では思うようなプレーができず初戦敗退という結果でした。来年の高総体に向け指導強化に務めたいです。

女子は現在部員数が3名であり、団体戦には助人を頼んでの出場でしたが一勝することができました。来

年の高総体でもいい結果が残せるように指導を続けていきたいです。

今後も個々の意識の向上とメンタル面の強化、技術の向上に励み、目標達成に向け今後も日々精進していきたいと思っております。

(顧問/梅木翔太・佐々木寿保)

【硬式野球部】

●1915 (大正4) 年に始まる夏の甲子園の100年を超える歴史の中で、大会の中止は米騒動の18(大正7)年と、戦局が拡大した41(昭和16)年の過去2回でした。これに次ぐ形で今年度、まさに歴史的な夏の甲子園大会の中止を我々は目の当たりにしました。

甲子園出場という最大の目標を失

う中でも、これまでの日常や支えに改めて感謝の心を向け、一瞬々々を一杯プレーする選手の姿に触れ、野球道を通じて養った技術以上の力にたくましさを感じたところであり

ました。無観客で開催された秋季大会では花巻東高校に敗戦し、悔しい結果となりました。この敗戦を自分たちが大きく変わる事ができる最後のチャンスであることと自覚し、意識と練習の在り方すべてを見直し、選手・スタッフ一同練習に励んでいるところです。

1年生大会では一関学院高校・花巻東高校に勝利し、盛岡大学附属高校に敗れたものの準優勝という結果を残すことができました。1年生の活躍のみならず、2年生も含めた新しい盛岡中央高校野球部の取り組みが成果につながったものと感じております。

「生活即プレー」「球道即人道」の部訓のもと、野球を通して世のため人のためになることができる人材の育成を目的に活動しております。引き続き応援よろしくお願いたします。

(顧問/本間 崇朗)

【女子ソフトボール部】

●新人戦盛岡地区予選

1回戦 盛岡中央8―6盛岡市立

2回戦 盛岡中央17―0岩手女子

決勝 盛岡中央4―2盛岡農業

●第67回岩手県高等学校新人大会

1回戦 盛岡中央9―6高田高校

2回戦 盛岡中央12―4大船渡高校

準々決勝 盛岡中央0―10花巻東高

ベスト8

●第26回岩手県高校新人選抜大会

予選Cグループ

1回戦 盛岡中央6―8一関第二

2回戦 盛岡中央4―5盛岡市立

令和2年度はコロナの関係で3年生は3試合をしたのみであったが、1・2年生は大きく成長し、目標であるベスト8に初めて入る頑張りを見せられました。これより3年生をはじめ父母の方々

の献身的な応援や盛岡中央高校を応援して下さる多くの皆様のおかげであります。

これから来シーズンに向けて更なる努力と取り組みで頑張りたくと思っております。

(顧問/川手 輔)



【囲碁将棋部】

【将棋部門】  
●第39回岩手県高等学校文化連盟将棋新人大会  
個人戦B級準優勝  
私たち囲碁・将棋部は毎週水曜日

に高校本校舎4階の選択教室で活動しています。日々の練習によって各部員の棋力・戦術方向に努めて、和やかな雰囲気・戦術研究・対局等を進めています。今年将棋部門で1名の入賞者を出すことができ、今後はより多くの受賞者を出す事を目標に活動していきます。  
現在、部員は2年生8名・1年生6名です。来年4月に行われる第42回岩手県高等学校将棋大会への出場・入賞を目指して練習に取り組んでいます。常時・部員募集中です。初心者も大歓迎です。  
(顧問／菊池亨・高橋勝弘)

【三バート同好会】

●第8回岩手県Ami Cup 高校生英語三バート大会  
参加賞  
10/20(火)、花巻市で行われた

「第8回岩手県Ami Cup」高校生英語三バート大会に参加しました。2年生1名、1年生3名で構成された1チームが出場いたしました。結果は1回戦敗退・敗者戦勝利という結果を取めました。英語三バートに初めて参加する生徒がほとんどの中で、大いなる学びがありました。1つの共通トピックに対して、各チームに割り振られた賛成・反対の



立場を基に、主張・反論・擁護・まとめの各生徒の役割を体感できました。チーム戦としての三バートの運用を理解できたようです。来年度、英語学習にも活かせる貴重な機会となりました。  
(顧問／大下美優)

【合唱部】

●第43回岩手県高等学校総合文化祭合唱部門第39回岩手県高校合唱祭  
令和2年度におけるこれまでの活動は、8月30日(日)に開催された、

第43回岩手県高等学校総合文化祭合唱部門第39回岩手県高校合唱祭への参加です。新型コロナウイルス感染症予防のために規模が縮小され、得点評価も省略されました。本校合唱部は次のような講評を頂きました。「難しい編曲、拍子の変化もしっかりと表現できています。日本語がとも自然でハッキリ聞こえます。しかも音色の整え方もすばらしい。」日頃の練習への取り組みが着実に実を結んできたものと考えています。今後も生徒の安全の確保と合唱活動の両立を目指し、鋭意努力していく所存です。  
(顧問／齊藤匠郎・高松博明  
コーチ／田村久美子)

【吹奏楽部】

●第43回岩手県高等学校総合文化祭吹奏楽部門「岩手県高校吹奏楽大会2020」  
B部門 銀賞  
●第29回全日本中学校・高校・打楽器ソロコンテスト東北大会北東北予選

高橋 華絵(2Z1) 金賞  
第29回全日本中学校・高校・打楽器ソロコンテスト東北大会出場。吹奏楽部は計9名で毎週火・木・金・土に中学校音楽室で活動しております。今年度は「一意専心」のスローガンのもと、生徒自身が主体となり、基礎練習や曲練習を短時間で日々工夫しながら取り組んでおります。昨年度は部員数が少なくコンクール等に出場することが叶いませんでしたが、今年度は有望な1年生が多く加わったこともあり、高校文化祭に出場し、銀賞を受賞いたしました。また、ソロコンテストにおいては、2年生の高橋華絵が金賞を受賞し、東北大会に出場すること

なりました。今後とも、自分たちの音楽を追求し、努力していきます。  
(顧問／中森 淳)

【軽音楽部】

●第20回軽音楽発表会参加(DVD録画映像)  
今年度も多くの新入生を迎え、バンド作り、部内発表を経て、昇龍祭

で発表することができました。新型コロナウイルスの影響でイベントの開催が危ぶまれる中、例年同様開催できたことをこれまで以上に感謝する年となりました。また、例年は体育館での開催でしたが、中庭でトラックの荷台を舞台として発表するというスタイルに緊張しながらもとても楽しむことができました。野外ライブをするアーティストのように多くの保護者や生徒の皆さんに見てもらえたのも良かったと思います。  
残念ながら、岩手県高等学校総合文化祭は開催されませんが、本校からは2つのバンドが代表してスタジオで撮影した演奏をDVDにパン、それをヤマハミュージックジャパンの方に見てもらい、コメントをもらうという企画に参加しました。スマートフォンでの撮影を自分たちで行い、編集するという新たな経験ができ、よりバンド内での交流や学年間の交流が深まった年となりました。  
(顧問／齊藤峻子)



世界遺産出前授業

10月1日に1年SZコース、Zコース対象に世界遺産出前授業が実施されました。本校は今回、知事実施校として選定され、達増拓也氏による講演(授業)が行われました。

本授業の目的は岩手を愛し誇りを持った児童・生徒を育成するため、県内の世界遺産である「橋野鉄鉱山」における「明治日本の産業革命遺産」の価値を伝えることにより、児童・生徒の郷土の歴史や文化等に対する理解を深め、併せて、本県の世界遺産を次世代に継承することについて意識醸成を図るというものです。

実際の授業では、クイズ形式で江戸時代の盛岡藩の石高の全国順位(21位)や製鉄方法の名称(たたら製鉄)を考えたりしました。橋野鉄鉱山から「官営八幡製鉄所」へ製鉄の技術が伝承され、釜石、岩手あつての日本の近代化が進み、岩手県の意外な先進性の説明でした。



授業終了後は、生徒より質問があり、若い世代への文化遺産の効果的なアピール等を知事とともに考えることができました。また、生徒を代表し1SZ2組の嶋田和叶さんから「岩手の文化遺産の価値を理解できました。それを私たちが守って伝えていかなければならないと思います。」との感想と謝辞で出前授業は終了しました。

